

京都府生協連ニュース

<第71回通常総会報告>

2024年8月7日・No.95(通算161号)

京都府生活協同組合連合会

京都市中京区烏丸通二条上る蔦絵屋町258番地

コープ御所南ビル4階

TEL. 075-251-1551

FAX. 075-251-1555

京都府生協連第71回通常総会報告

～全議案を満場一致で可決～

6月11日(火)、京都府立総合社会福祉会館 ハートピア京都で開催



<ご来賓からご祝辞をいただきました>



開会のあいさつをする
西島 秀向会長理事



京都府西脇隆俊知事代理
文化生活部 益田 結花部長



京都労働者福祉協議会
原 敏之会長

京都府生協連第71回通常総会報告

6月11日(火)午後1時30分から、京都府立総合社会福祉会館 ハートピア京都で、京都府生活協同組合連合会第71回通常総会を開催しました。総会の代議員総数は45人で、本人出席18人、書面出席27人でした。

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、2020年度以降、「書面決議」を中心に開催し、時間短縮のため代議員発言(活動報告)はなしとして開催していましたが、今年から代議員発言(活動報告)を再開し、コロナ禍前の形に戻して開催しました。来賓および理事・監事・オブザーバーあわせて、56人が参加しました。高倉通孝理事による開会宣言のあと、西島秀向会長理事が開会のあいさつをのべ、ご来賓の京都府文化生活部・益田結花部長(京都府西脇隆俊知事代理)、京

都労働者福祉協議会・原敏之会長から、ご祝辞をいただきました。オブザーバーとして、日本生協連関西地連・事務局 大田英夫氏はじめ、6人が参加しました。議長に大島一成代議員(同志社生協)が選任されました。地元選出の国会議員、各関係団体、各生協などから81通の祝電・メッセージがよせられたことを鯉江賢光事務局長(当時)が紹介しました。高取淳専務理事(当時)が第1号～第7号議案を提案し、長誠一郎特定監事が監査報告をおこないました。提案した議案のすべてが満場一致の賛成で可決されました。総会後に第1回の理事会、監事会が開催され、会長理事に西島秀向氏、副会長理事に畑忠男氏、同・姫田歩氏、専務理事に鯉江賢光氏、特定監事に長誠一郎氏が就任しました。



開会宣言をする
高倉通孝理事



議案提案をする
高取 淳専務理事(当時)



監査報告をする
長誠一郎特定監事

■祝電・メッセージをお寄せいただいた方々<順不同・敬称略6月11日現在>

衆議院議員	勝目 康	衆議院議員	泉ケンタ	衆議院議員	こくた恵二
衆議院議員	北神圭朗	衆議院議員	本田太郎	衆議院議員	前原誠司
衆議院議員	田中英之	衆議院議員	山井和則	衆議院議員	堀場さち子
参議院議員	井上さとし	参議院議員	倉林明子	京都市長	松井孝治
京都府議会議長	石田宗久	京都府社会福祉協議会会長	小畑英明	京都市社会福祉協議会会長代行	竹下義樹
京都商工会議所会頭	塚本 能交	京都府農業協同組合中央会会長	中川泰宏	京都府森林組合連合会代表理事会長	青合幹夫
京都府漁業協同組合代表理事組合長	西川順之輔	近畿労働金庫理事長	江川光一		

■全議案が満場一致で可決されました

議案	賛成	反対	保留	合計
第1号議案 2023年度活動報告・決算関係書類等承認の件	44	0	0	44
第2号議案 2024年度活動方針・活動計画および予算決定の件	44	0	0	44
第3号議案 2024年度役員選任の件	44	0	0	44
第4号議案 2024年度役員報酬決定の件	44	0	0	44
第5号議案 役員選任規約の一部改定の件	44	0	0	44
第6号議案 監事監査規則の一部改定の件	44	0	0	44
第7号議案 役員退職金支給の件	44	0	0	44

※出席代議員は合計45人（本人出席18 書面出席27）、うち議長1人は採決に参加せず。

【京都府生協連 2024 年度役員体制】（6月24日現在） *新任

<会長理事> 西島 秀向（員外）	川村 幸子（員外）
	姜 美名（京都生協副理事長）
<副会長理事> 畑 忠男（京都生協理事長）	上坂 光彦（やましろ健康医療生協専務理事）*
姫田 歩（京都大学生協専務理事）*	清水 泰治（京都医療生協専務理事）
	高倉 通孝（京都生協専務理事）
<専務理事> 鯉江 賢光（員外）*	蛭田 美幸（全京都勤労者共済生協専務理事）
	筆口 智子（生協コープ自然派京都理事長）
<常任理事> 本多 浩（京都府生協理事長兼専務理事）	柳澤 克哉（京都橘学園生協専務理事）*
風折 昌樹（立命館生協専務理事）	吉田 不二男（京都市民共済生協専務理事）
上西 良太（乙訓医療生協専務理事）	<特定監事> 長 誠一郎（乙訓医療生協監事）
<理事> 浦田 千恵（生協生活クラブ京都エル・コープ常任理事）	<監事> 河野 直（京都生協常勤監事）
奥谷 和隆（京都高齢者生協くらしコープ専務理事）	崎濱 誠（龍谷大学生協専務理事）*

【退任された役員】

<理事> 國見 伸行さん、杉江 勇亮さん、高取 淳さん、堂本 吉次さん
 <監事> 鯉迫 裕子さん

【事務局】

事務局長 高取 淳 事務局担当 川端 浩子 事務局担当 岡本 朋子

会 員 生 協

京都生活協同組合	京都橘学園生活協同組合
生活協同組合コープ自然派京都	京都経済短期大学生活協同組合
生活協同組合生活クラブ京都エル・コープ	京都府庁生活協同組合
京都大学生活協同組合	京都医療生活協同組合
同志社生活協同組合	やましろ健康医療生活協同組合
立命館生活協同組合	乙訓医療生活協同組合
龍谷大学生活協同組合	全京都勤労者共済生活協同組合
京都府立医科大学府立大学生活協同組合	京都市民共済生活協同組合
京都工芸繊維大学生活協同組合	京都高齢者生活協同組合くらしコープ
京都教育大学生活協同組合	生活協同組合連合会大学生協事業連合

■ 3 人の代議員から発言がありました。発言要旨を以下に掲載します。

1. 生活協同組合生活クラブ京都エル・コープ 平野 麻子代議員
「私たちの『共生のまちづくり』」



私たち生活クラブ京都エル・コープは、自分たちの問題は自分たちで解決していこうと1993年に設立し、昨年創立30周年を迎えました。2016年から地域計画検討会議を設置し、実際組合員はどんなことに困っているのか、地域にどんなサービスがあればいいのかなど現地調査アンケートを実施し、また地域で活動をされている団体や個人のお話をきく学習会を開催するなどして、組合員の声や意見をもとにどのような「まちづくり」

をしていくのか話し合いを重ねてきました。そして、この夏配送センターの1つとして使用していた南区久世にある建物から配送センターが移転するのにともない、移転後のあいた建物が私たちの共生のまちづくりの活動拠点とすることが決まりました。改修が終わる2025年2月から私たちのたすけあい活動拠点として「コミュニティカフェ」や「居場所」「子育て支援の場」として生まれ変わり、組合員が中心となって構成される「ワーカーズコレクティブ」としての実践もはじまります。徐々にほかの地域にも広げていきたいと思っています。皆様もぜひ足を運んでみてください。

2. やましろ健康医療生活協同組合 佐藤 良太代議員
「宇治市におけるPFAS調査について」



PFASについては、まだ不明な点も多いですが、一度人体の体内にはいると排出されるのに時間がかかり、健康への悪影響が指摘されています。

2022年7月に防衛省が全国自衛隊基地PFAS調査を公表しました。その中で宇治駐屯地（関西補給処）が暫定基準値の17万倍ととびぬけて高値でした。

その後、2023年10月に京都保健会小泉医師と京都大学原田准教授より基地周辺の実態把握のための調査活動として、当法人で採血と結果返しの取り組みができなかったかと打診がありました。当法人は調査対象の確保、場所、物品、人員の提供と結果返しを行うこととし学習会や説明会を行い具体化がすすみ、2024年1月に京都大学宇治キャンパスとあさく

ら診療所で100人規模の調査を実施しました。検査費用は京都大学が研究費名目として負担、当初予定していなかった生化学検査も、京都民医連より援助を頂き大阪民医連と同じ項目で実施できました。5月には結果返しを行い、またあさくら診療所ではPFAS相談外来も実施しています。実際に検査参加されたのは合計87人、そのうちボーダーラインを超えた方は60人を超えていました。

今回は研究目的のため、地域を区切る、1世帯1人とするなどの条件を付けました。本来、国や自治体が行うべき調査です。行政に対しては責任ある対応を求めていきたいと思っています。

※PFAS（ピーファス）：人工的に作られた有機フッ素化合物の総称。4700種類以上ある。水や油をはじき熱に強いという特性があり、焦げつきにくいフライパンや防水服、食品の包み紙などの身近な日用品から、航空機の火災などで使われる泡消火剤や半導体、自動車の部品にまで幅広く利用されている。産業利用に適している反面、一部の種類で自然界に放出されるとほとんど分解されないまま残り、生物に取り込まれると体内に蓄積しやすいことがわかってきた。

3. 全京都勤労者共済生活協同組合 飯田 淳一代議員
「全京都勤労者共済生活協同組合（こくみん共済coop京都推進本部）2023年度の活動報告について」



能登半島地震への対応受付件数はおよそ2万件を超え、現時点で93%が完了しています。支払い共済金は136億円。申告箇所だけでなく細かい調査をし、少しでも組合員への共済金が増えるよう努力をしました。2024年度は、火災共済誕生70周年、また1月は阪神淡路大震災発生30年を迎えますので、今後も組合員さんによりそった活動をすすめてまいります。

こどもの健全育成の取り組みでは、マイカー共済見積1件について一本の横断旗を全国の小学校児童館等

に寄贈する「7歳の交通安全プロジェクト」を実施。京都府内で4200本もの横断旗を寄贈、交通安全ハザードマップを配布。「こどもの成長応援プロジェクト」では「こども保障タイプ」加入1件につき1本のなわとび、長なわを全国の児童館等に1750本寄贈。

防災減災の取り組みでは、お住まいの地盤診断サービスを実施。スマホで知りたい地域の住所を入力するだけで、その時点での地震・液状化・浸水のリスクがわかるという好評のサービスです。京都府生協連との共催で2月末にリモート型の学習会を実施し242名の方にご参加いただきました。今後もこのような取り組みを進めていきたいと考えております。